

# (仮称)佐倉西部自然公園

## 第6回合同会議 会議概要

1. 名称 (仮称)佐倉西部自然公園 第6回合同会議  
2. 日時・場所 平成23年11月27日 10:00～ 佐倉市役所6階中会議室  
3. 参加者 下志津ふるさと会8名、畔田里山会4名  
仮称佐倉西部自然公園支援し隊 5名(代表2名)  
東邦大学医療センター佐倉病院2名、千葉県立佐倉西高等学校1名  
公園緑地課4名、環境保全課3名 計27名 (傍聴5名)

### 4. 内容

#### 1) 参加者の紹介・前回会議(第5回合同会議)の報告

公園:	前は、ふるさと会・里山会合同会議という名称でしたが、今回から新しいメンバーとして支援隊、東邦病院、佐倉西高の方に正式にご参加いただくことになりましたので、今後は合同会議という名称にしたいと思います。(＊前回会議は第5回合同会議概要を参照) なお、前回会議で写真を通じたPRについて、支援隊からお話がありましたが、早速、東邦病院さんのご協力により、病院内で写真展示を行われたとのこと。
-----	--

#### 2) B・Dゾーンのイメージ図について

公園:	(整備基本計画の概要について) この地域の素晴らしい資産である谷津景観を取りこみつつ、身近な自然に接することのできる公園を市民とつくりあげる、という理念のもと、整備基本計画では、区域をA B C Dの4つのゾーンに分け、それぞれの特徴を活かした整備を行うとしています。Bゾーンは環境保全課がワークショップ事業を行い、支援隊も深く関係されていますので、前回の会議におきまして、イメージ図の作成をお願いしています。
環境:	(B・Dゾーンの整備基本計画での計画内容) Bゾーン: 里山・谷津環境の指標である猛禽類のサシバの生態調査を行い、モニタリング(17ha) により、里山・谷津環境に配慮した整備計画を長い期間をかけて策定します。 Dゾーン: 昔ながらの樹林が残っており、貴重な猛禽類が営巣している可能性があるため、(8.3ha) 人の出入りを抑制し、最低限の計画施設を整備します。
環境:	(環境保全課に係わるB・Dゾーンの目指すもの) サシバやオオタカといった食物連鎖の上位種の生息を維持するため、その餌となるカエルやドジョウ、トンボ、バッタなどが生息する湿性植生帯や豊かな谷津環境、斜面林等を保全し、エリアの水系を維持することを目指します。Dゾーンは、猛禽類の営巣に配慮し、里山や湿性植生帯をできる限り自然の姿で保全することを目的としたエリアと考えており、手を入れるのをなるべく控える区域と考えております。Bゾーンは、ご存知のとおり、平成19年度より市民の方の協力を得ながらワークショップ事業として活動している区域です。A・Cゾーンに挟まれており、両区域の連絡路としても重要な区域と考えております。
環境:	(今までの整備状況と今後の維持管理について) 平成18年度から「千葉県環境再生基金」の助成金を受けて整備を進めてきましたが、来年度で助成が終了します。今後、充実した予算も見込める保証がないなか、整備した区域の維持管理についてはワークショップの皆様のお力を借りて維持管理をしていきたいと考えます。ただし、1・2年ではなく、10年以上のスパンで継続できなければ意味がありません。将来、ワークショップの方々と市民協働で維持管理や整備を行い得るのは、Bゾーンの下流域、下志津から畔田に抜ける市道から上手繰川に向けての約10haが限界かなと。
環境:	(畔田谷津整備イメージ図の説明 - 園路・駐車スペースについて) 昭和30年代の里山風景のイメージに近づける事を目的に、下志津Aゾーン側の既存農道をメイン園路として、上手繰川から下志津側に散策者が通り抜けられるように考えております。この園路については平成21年度より、凹凸の厳しいところ、法面崩壊箇所の整備、通行に支障のある樹木の処理を行っております。また、佐倉西高等学校から生谷橋へ向かう農道沿いに「作業場」と表示してある部分ですが、今まで農繁期等に農道への車両の駐車農家の方々に迷惑をおかけしておりますので、活動の際の荷物の積み下ろし等に利用できるよう、車3台程度、駐車できるスペースの整備を今年度中に実施する予定です。

環境：	<p>(畔田谷津整備イメージ図 - 連絡路・研究路について)</p> <p>現在、A・Cゾーン間の連絡路はありません。実際は手繰川沿いの農道と下志津から畔田に抜ける市道を利用しています。A B C Dの公園内の連絡路としてどうか、といったご意見もありますので、メインの園路から畔田沢を渡ってA・Cゾーン間の往来ができるよう、Bゾーンの上流側と下流側の2か所に連絡路を整備する予定です。下志津側のメインの園路同様、舗装は行いませんが、通行に支障がないよう、凹凸や勾配に配慮した整備を来年度以降に進める予定です。また、「研究路」部分は、園路幅を広げたりはせず、既存の赤道を利用した、最低限散策に支障のない程度の整備を考えております。また、畔田沢から下志津側については、稲が植えられている状態とまではいきませんが、水張り状態の水田を復元していく予定です。現在、約4haは復元整備が行われ、観察路から復元された水田等の観察ができるように考えております。</p>
環境：	<p>(畔田谷津整備イメージ図 - 規制区域について)</p> <p>赤字で「4～7月期間規制エリア」と示してある区域ですが、猛禽類の営巣期間は、水田の中等に入って散策したりするのを規制する区域といたしました。</p> <p>今回は、主にBゾーンの下流域についてのイメージ図の説明をさせていただきました。次回の合同会議までに、Bゾーンの上流域及びDゾーンについてのイメージ図を提示させていただくように作業を進めたいと考えております。</p>

### 3) 緊急雇用事業について

公園：	<p>(緊急雇用事業の進捗状況、今後の予定について)</p> <p>Aゾーンは従前に草刈りした部分を再度草刈りしました。五反目谷津の先にある斜面林が竹ぼうぼうの状態になっていましたので、平場から斜面にかけて3mまで竹やアオキなどの伐採を行いました。Cゾーンは、坊谷津部分の先を整備しています。現在、きれいな景観になっており、新しい植物が出てくるのではないかと期待しています。</p> <p>(第一回 竹炭焼きについて - 12月9日予定)</p> <p>朝8時から火入れを予定しています。場所はCゾーンの野球場の手前あたり、昨年度の事業で造った炭焼き釜です。一晩かかる仕事ですが、ご興味のある方はどうぞ。</p>
-----	--

### 4) (仮称)佐倉西部自然公園関係の来年度予算について

公園：	<p>(来年度の予算について)</p> <p>まず赤道(昔ながらの道)、青道(水路)の測量、境界確定をして杭入れする費用を計上しています。なお、散策路の拡幅に伴う道路整備について、狭いとお話のありました下志津のグラウンドゴルフ場に至る道や、畔田の幹線からの道を整備するための測量や基本設計、工事費を要求しましたが、財政担当から各ゾーンの全体詳細計画がまとまってから要求せよ、とのことで、査定の段階で却下されている状況です。</p>
公園：	<p>(今後の維持管理と費用について)</p> <p>緊急雇用も今年度で終了します。失業者対策として来年度も延伸される可能性もあります。緊急雇用がなくても、維持管理をできるようにしたいのですが、難しい状況もありますので、市民の皆さんと考えたいと思います。例えば、企業に部分的に社会貢献活動として入ってもらう、また、県や国の補助事業のメニューも色々ありますので、例えば防災拠点として位置付けしたうえで補助金をもらうといったことも考えられますが、整備に対する補助金だけで維持管理に対する補助金のメニューがありませんし、まだはっきりした段階でもありません。市民の皆さんがいつ来ても里山の景観を楽しめる公園にしたいのですが。</p>

### 5) 名前の変更について

公園：	<p>まずは合同会議で決める、または公募で決める方法があります。公募で決める場合も、自由に市民から公募する方法と合同会議で一定の案を出した上で市民に投票してもらうことも考えられます。前回の会議でお話いたしました、いかがでしょうか。</p>
ふる：	<p>この公園は佐倉市全体の公園ですので、市民の公募が一番良いと思います。畔田・下志津だけ、合同会議だけで決める場合、下志津の住民の声としては下志津の名を、畔田もその名を残したいという意向もありますが、佐倉市全体として考えなければならないかと。</p>

支援：	Bゾーンのワークショップでは、サシバの里、のような名称を考えているようです。それが全体にどうかという部分もありますけれども、公園と付けるのか、何とかの里と付けるかで、それによってだいぶイメージが変わってくると思います。最終的には公募が良いのではないのでしょうか。どれだけこの公園の特徴を皆さんが知っているかどうかが不明ですので、ある程度お知らせしたうえで、公募したらいかがでしょう。
公園：	検討会で基本計画を策定する段階からの懸案事項でしたので、この辺で決めたらどうかとご提案いたしました。ただ、もう少し時間をかけて考えても良いかも知れませんね。

## 6) その他

公園：	(支援隊が考える公園全体計画について提案) 支援隊の皆さんから資料をいただきましたので、説明をお願いいたします。
支援：	前回会議でA・Cゾーンを含めた部分でお話をさせていただきましたが、A・Cゾーンで既に策定されているイメージ図を、支援隊の案に反映させた方が良いのではないかと、というご意見をいただきました。それも含めて、今回、改めて案を提案させていただきたいと思えます。前回の合同会議でも、公園の全体計画は合同会議で策定していくということでした。私どもは畔田・下志津地区で活動しており、生き物たちのことなども、だいぶ勉強しておりますので、今回ご提案いたします。
支援：	(支援隊が考える公園の全体計画) 社会情勢や市の財政を考え、造成に極力お金をかけず、維持もお金がかからないように。の考えを盛り込み、公園検討会で決めた理念に沿った公園にする。 歴史・自然の佐倉市にふさわしい、ありきたりでない日本に一つしかないような公園に。
支援：	(支援隊が考える今後の進め方) 4割が民有地であるため、全体計画を画に描いた餅にしないためにも、検討会の理念をもとに地権者の方と早急に話し合いを持ち、公園とすることの合意を得る。 を進めながら、各ゾーンの特徴を活かしながら全体で整合性のとれた全体計画を合同会の合意でつくる。サシバの生息域と森林・湿原必要面積の関係から、Bゾーンだけあれば良い訳でもないの、研究データをいただきながら全体の整合性を図りたい。当面は大幅な改変はせず、草刈りを中心とし、緊急雇用で整備した現状を維持する。緊急雇用でだいぶきれいになり、貴重な植物も出てきています。 必要最小限の観察路、トイレ、駐車スペースは確保する。
支援：	(支援隊が考えるA・Cゾーンの問題点) 駐車場は数が多い。また、公園の奥にあり、車が公園の中に入り危険。自然破壊も。泉自然公園のように、なるべく駐車場は入口に1箇所。 バーベキューは多摩川のような問題もあり、自然公園にふさわしくないのではないかと。噴水や釣り堀は水も足りないし、自然公園にふさわしくないのではないかと。 西高の下部分、アスレチックよりは原っぱなど子ども達が自由に遊べる場が欲しい。
支援：	(支援隊が考える自然公園にふさわしい景観) 昔の風景を再現するために長期計画を立て、今から植物を育てていく。地元のお話を伺いますと、松林、ススキの原があって萱葺き屋根のために売っていた、ヤマユリがいっぱいあった等々を再現したいです。里山の恵み-放っておけば生えてくるワラビなども。雑木林(カブトムシやクワガタがいるような) 美しい竹林(京都のような) 子ども達が自由に遊べる浅い池・小川・原っぱ(トンボの原) 鶯が営巣できる、ある程度の藪を残す。(整備につれ、鶯のオスの囀りが減少している。) 緊急雇用で藪だらけの状態がきれいになったことは良いのですが、そこからどの部分を残すか、といった検討をしながら進めてもらいたい。 貴重な動植物を保護する保護エリアを各ゾーンに設ける。Dゾーンのみ保全エリアですが、湿地部分にも貴重な植物が出てきています。緊急雇用後の部分にイチリンソウなど。
支援：	(支援隊が考える管理の仕方) 地元の方を中心とした管理組合をつくる。(千葉市大草などを参考に) 定期的な観察会により、広く市民に公園のよさを知ってもらう。現在は毎月1回開催。

	<p>貴重な公園の資源でもある動植物の変化を記録するためにモニタリング調査を行う。市民参加で管理する。ワークショップ方式、市民大学卒業生方式、里山講座など。地元の方の指導で体験農業の場を設ける。自然保護団体に委託する箇所も確保する。</p> <p>(支援隊の案に対する質疑応答)</p>
公園 :	先ほど環境保全課が提示したBゾーン下流部分の案はご覧になっていますか。
支援 :	環境保全課の方は、ワークショップのエリアとして、その案に基づいています。支援隊は畔田沢の上流部分、保全湿地となっている部分です。
公園 :	ワークショップで活動しているエリアは、環境保全課でとりまとめるということですか。A・Cについては、下志津ふるさと会、畔田里山会で提案されたものがありますので、それを含めてすり合わせをしながら、管理方法も検討していかなければならないと考えます。
支援 :	全体計画はどのような形で進められる予定ですか。スケジュールや予算は。
公園 :	合同会議で話し合い、計画を煮詰めて図面を作り、トイレや広場などの規模を決めます。予算要求は、来年度の要求が終わっているの、再来年度になります。話し合いばかりして、何も進んでいないといった御意見もありますが、整備基本計画のスケジュールを見ますと、計画通りに進んでいるのかなという感があります。
支援 :	再来年度の予算化のため、全体計画を煮詰めていくと。地権者の方へのお話はどのように。
公園 :	民有地の部分ですね。Q & Aを作って、地権者に里山会・ふるさと会さんの方からお話してもらっています。場合によっては全体の地権者会議も検討したいと思います。Q & Aは、地元の方に周知を図るとともに、税金の問題等を含めてご理解いただくものです。
里山 :	支援隊のイメージ図は、ふるさと会・里山会の案からすると、ちょっと違うかなと。私も月1回、会で話し合っています。どのようにすり合わせてイメージを作っていくのか、問題のある部分も・・・。合同会議を何回か重ねればいいのか、とも思いますが。
公園 :	前回会議でお配りしたA・Cゾーンのイメージ図は、ホームページでも公開しています。ただ、名称の違いで、提案内容が大きく異なる部分はないと思われます。例えば、問題とされました釣り堀については、坊谷津の浅い池を利用してザリガニ釣りができたらいいなとか、アスレチック遊具についても、下志津ふるさと会から子どものために遊具的なものも少しはあっても良いのではないかと、ということで、間伐材などを利用した野趣あふれるものというイメージで、皆で色々考えて作ったものです。公園予定地の4割は民有地ですので、地元を中心に、支援隊の方々も含めて全体計画の策定を進めていきたいと思っています。
支援 :	お金がいくらかかるか試算はしていますか。
公園 :	例えば、駐車場の規模によってもお金は変わってきますので、施設とその規模が固まってから、どのような工事をするか、工種を拾い出して試算します。
	(東邦大学医療センター佐倉病院 - 防災的な施設として)
病院 :	すぐ近くに公園ができる、ということで、大変期待しております。東邦大学としては、理学部の講師で里山を保護するため、講演会をしている者がおります。恐らくBゾーンの自然保護に関係としては近く、理学部もそういう部分で関心を持っております。薬学部でも薬草園を持っていますが、佐倉は医療発祥の地でもあり、そういった部分でも多少参加できればいいな、と考えています。また、以前にもお話いただきましたが、市の防災計画に関係している部分で、病院としてお役に立てる部分があるとすれば、災害避難や急病時に貢献する用意はいつでもあると思います。以前の会議でヘリポートとのお話がありましたが、患者さんをすぐに救って運び出すことを考えますと、病院としてはAゾーンに作っていただいた方が、皆さんのお役に立つかなと思います。
ふる :	地元としては、ご提案の通り、Aゾーンのヘリポート・避難場所を想定しますと、下志津・畔田への道路拡幅を優先してお願いしたいと思います。赤道が狭く、緊急時の活動場所とすると、救急車などの車両が入れません。支援隊のイメージ図ですと多目的広場と書かれてある部分に至る道をまず、拡幅整備してもらいたいと思います。3・11に災害がありましたが、いつ佐倉市においても田んぼを埋め立てた住宅地が液状化するとも限りません。仮設住宅などの拠点としても考えられますので、どうしても道路が必要です。今後、防災担当課とも充分協議して予算化できるよう、地元として要望したいと思います。

西高：	<p>(県立佐倉西高校 - 困っていること、今後に期待すること - ボランティア活動の場)</p> <p>いくつか困っていることがあります。自然を残すのはありがたいことなのですが、西高とAゾーンの土手にスズメバチがいます。対策をとらないと憩いの場にならないのかなと。本校の中にできた巣も先日除去したのですが、かなり、いるのではないかなと思います。オオスズメバチでしょうか。栄養がいいようで、大きいです。それともう1点、ここ3年半の間に、自然発火で火災が2件ありまして、1件はボヤでしたが、もう1件は消防車2台が出動する騒ぎで、もし風向きが変わっていたら危なかったかなという火災でした。その部分の対策といいますが、怖い部分もあるかなと思います。協力的なことを申しますと、平成25年度から学習指導要領の関係で道徳教育の時間ができます。1年生で35時間やらなければなりません。今から計画を練っていますが、ボランティア体験ということで清掃活動などを組み込める時間があると思います。その辺は大変ありがたいと思っております。うまく連携できて公園維持に活用できたら良いかなと考えております。</p>
公園：	<p>ホームページなどを拝見しますと、西高さんはボランティアなどで表彰されたりしているようです。是非とも、お願いしたいと思います。スズメバチについては詳しい方もいらっしゃると思いますが、時期により活発になって人に害をなすようです。里山にはつきものなので、都市公園の中でも自然を大事にする公園として、自然とのバランスも考えて行く必要があります。ただ、エリアとして、子どもが入るスペースなどは見回って管理していかなければならないかなと思います。自然火災については、西高さん下の方ですか。</p>
ふる：	<p>あの辺りは、緊急雇用で伐採したので、今のところ心配はないですね。</p>
公園：	<p>緊急雇用がなくなって、以前の状況になった場合に火災の危険があるということですね。スズメバチもそうですが火災についても看板設置はどうか、という部分もありますので、臨機応変に草刈りをするなど、対応したいと思います。</p>
	<p>(竹林の管理と貴重な植物の保護について)</p>
西高：	<p>個人的には、京都の竹林はお金と手間がかかり、予算と人手の確保が難しいと感じますが。</p>
公園：	<p>現在、下志津の高齢者クラブの方々が竹林の手入れをして下さっています。とても良い感じになっていきますので、入ってご覧いただければと思います。</p>
ふる：	<p>高齢者クラブとしては、平均75～80歳近いようなことになっていきますので、労働力の面で無理があるかなと。力仕事は、若い人がいるので頼りにしていますが。それと、京都の竹林は皆さんテレビでご覧になって大変素晴らしいのですが、この地区の竹林につきましては、あのようなイメージを持たれても無理だと思います。下志津の山なりの、竹林を美しくきれいに、努力して参りたいと思いますが、それに、竹だけではなくて、いわゆる草ですね。結構珍しい、保存しておきたい草があるようですが、私ども高齢者クラブの仲間うちでは、さほど知識を持った者がおりません。時々、観察隊が入られているようですが、私たちが竹林を清掃している時にお会いしました。皆さん知識を持った方がおいでになるようですから、今後とも引き続いて、残しておきたい草や花などがありましたら、ただ見て通るだけではなくて、棒でも何でも印を挿しておいて、これは大事な花だよと表示してもらえれば良いかと思います。今後とも竹林を、御役目として仰せつかっておりますので、やるつもりではあります。歳をどんどんとって、若い人が手助けしてくれなければ、さほどのことはできませんが、目一杯がんばります。</p>
支援：	<p>私たちのグループに竹刈り隊というグループがいます。是非、連絡とっていただければ。五反目谷津にも緊急雇用で整備した後に貴重な植物(クマガイソウ・イチリンソウ、トモエソウなど)が出てきましたので、公園緑地課の許可をもらって、その部分は印をしておきました。まだまだ出てくる可能性もありますので、お話ししながら進めたいと思います。</p>
	<p>(次回の会議日程について)</p>
公園：	<p>次回の会議については、年4回としますと、2・3月頃を予定しますが、里山会・ふるさと会の会長さんをはじめ、皆さまのご予定を調整して決定し、改めて通知いたします。</p>
	<p>以上</p>